

2022年度 学生生活調査 結果まとめ

2022年度学生生活調査にご協力いただき、ありがとうございました。

調査の結果は今後、学生生活の改善・支援及び大学運営に役立てていきます。

皆さんの意見を反映できる場でもありますので、ご活用いただければと思います。

なお、調査結果の自由記述欄については、表現を一部抜粋、簡略化した標記をあることをご承知おきください。

学生生活委員会

【基本情報】

(1) 在籍数

	看護学科	臨床検査学科	総数
1年生	116	43	159
2年生	123	56	179
3年生	113	25	138
4年生	108	0	108
合計	460	124	584

(2) 回収率

	応答数	回収率 (%)
昨年度※	232	42.9
今年度	232	39.7

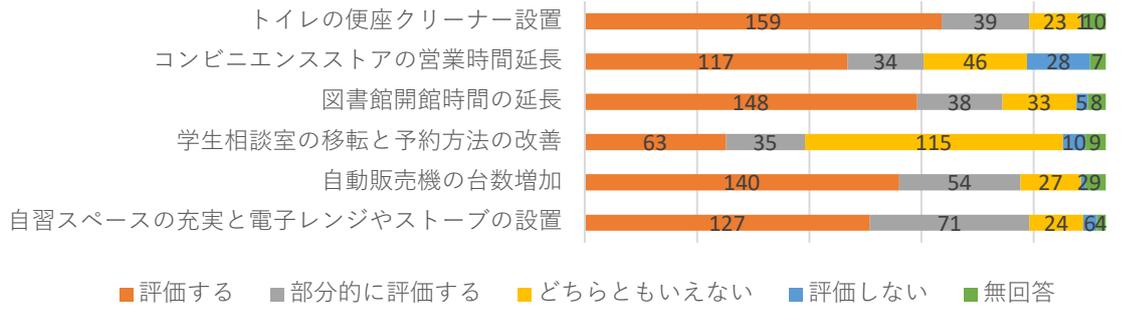
※在籍数541

(3) 学年別回答結果

	看護	臨床	無回答	全体	回答率
1年生	70	19	1	90	56.6
2年生	32	26	2	60	33.5
3年生	35	13	1	49	35.5
4年生	32	0	0	32	29.6
合計	169	58	4	231	39.7

【調査結果】

1. 環境改善につながった点についての評価



<コメント>

これまで、学生生活調査結果から環境改善につながった点についての評価をお聞きした結果、『学生相談室の移転』と予約方法の改善』以外の5項目については、過半数が「評価する」または「部分的に評価する」という結果でした。とくに、『トイレ便座クリーナーの設置』、『図書館開館時間の延長』、『自動販売機の台数増加』、『自習スペースの充実と電子レンジやストーブの設置』の4項目については、評価する意見が8割を超えており、このアンケートの意義を少しでも実感していただけたら嬉しい限りです。

今後も、このアンケートがさらなる環境改善につながればよいと思っています。

2.現在の学年

【基本情報】 (3) 参照

3.現在の住まい

	今年度	昨年度
実家・親元	201	208
一人暮らし	23	22
その他	8	2

4.所属学科

【基本情報】 (3) 参照

5.授業時間外での1日あたりの平均学修時間

	ほとんどして いない	30分未 満	30分～1 時間未 満	1時間～ 1時間30 分未 満	1時間30 分～2時 間	2時間～ 2時間30 分未 満	2時間30 分～3時 間未 満	3時間～ 3時間30 分未 満	4時間30 分～5時 間	5時間以 上	無回 答	総計
1年生	12	5	20	24	10	11	5	3	0	0	0	90
2年生	5	4	11	13	3	13	6	0	2	1	2	60
3年生	5	2	8	11	10	7	4	1	1	0	0	49
4年生	2	0	3	3	3	3	2	7	3	5	1	32
合計	24	11	42	51	26	34	17	11	6	6	3	231

6.1日あたりの読書時間

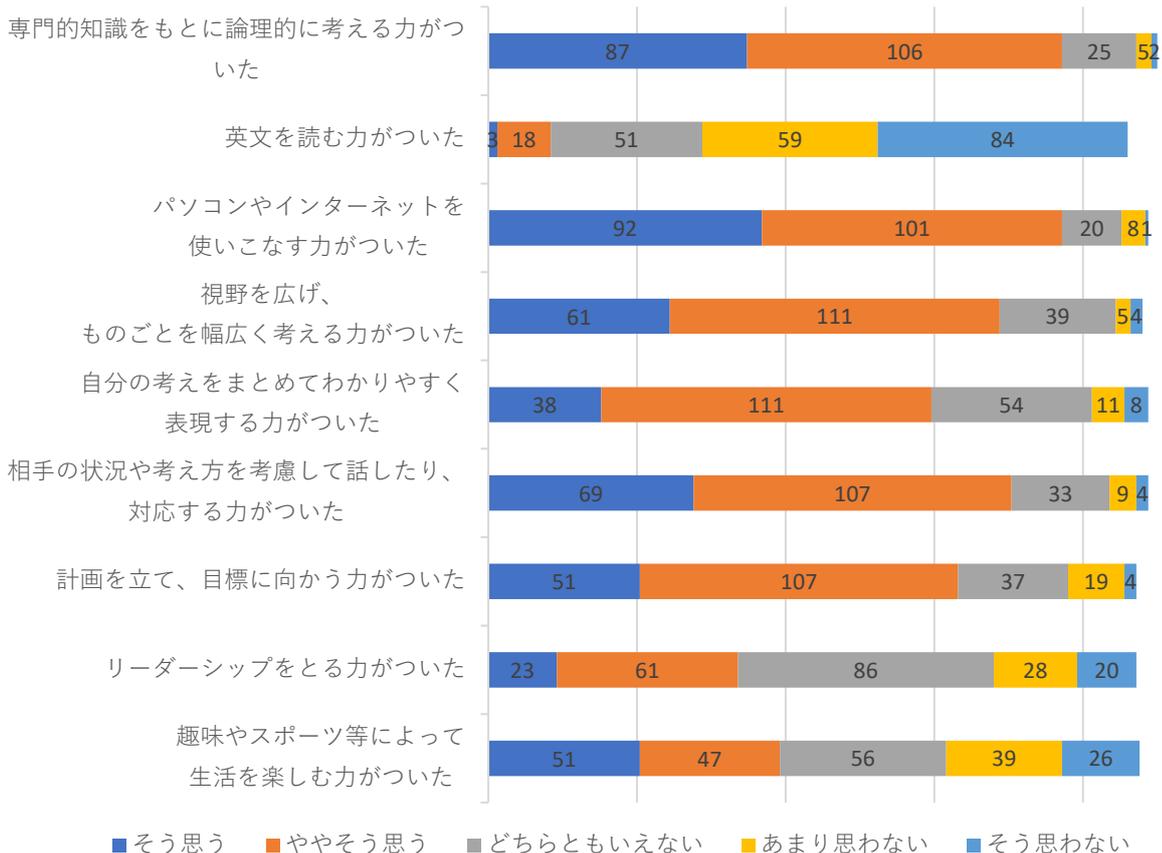
	ほとんどして いない	30分未満	30分 ～1時間	1時間30分 ～2時間	2時間30分 ～3時間	3時間～3時 間30分	3時間30分 ～4時間	4時間以上	無回答	総計
1年生	59	14	11	1	2	1	0	2	0	90
2年生	40	6	3	3	4	0	0	1	3	60
3年生	31	7	5	2	2	0	0	1	1	49
4年生	18	1	7	2	0	1	0	0	3	32
合計	148	28	26	8	8	2	0	4	7	231

<コメント>

1日あたりの平均学修時間については、学年が上がるに従い長くなる傾向は例年と同様でした。全国の30大学を対象に実施された全国大学生生活協同連合会 学生生活実態調査(令和4年3月)によると、1日当たりの平均勉強時間は学年別で66.8分(1年生)～78.3分(4年生)という結果ですが、単純比較は難しいものの、全国平均からと比較少ない方ではないかもしれません。とくに4年生では3時間以上の学生が半数近くおり、医療国家資格を目指す大学の特色が表れていると考えられます。とは言え、「ほとんどしていない」学生が1年生では13.3%、4年生でも6.3%という結果は憂慮すべき点かと思われまます。自己学修の習慣がない学生さんは、少しでも時間を取るよう意識しましょう。

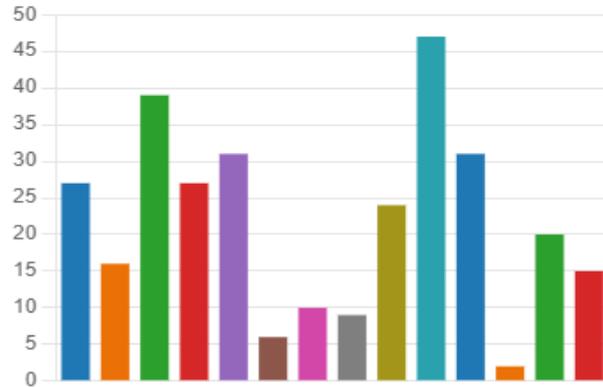
1日当たりの平均読書時間については、ほとんどしていない～30分未満の学生が全体の8割近くを占めていますが、この数字は、前出の全国調査の平均60.1%と比較すると、本学の学生は読書時間が若干少ないようです。大学の勉強も大切ですが、読書の時間も持てるといいですね。

7.大学で学んで身についたこと

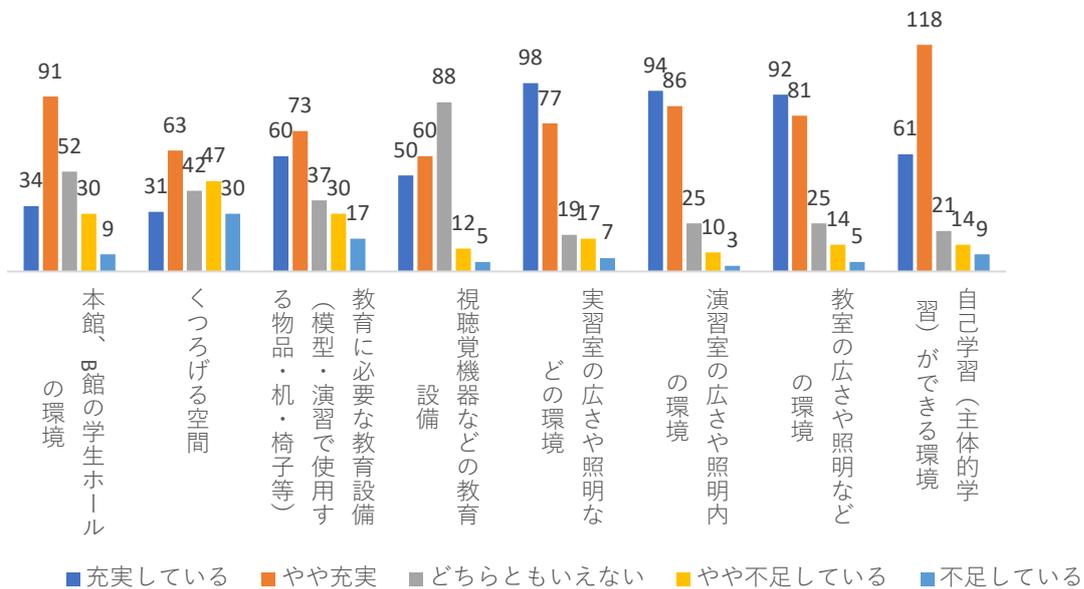


8. (1年生対象) 本学を選択した理由

- 専門の研究・教育の内容が充実し... 27
- 就職に有利だと思ったから 16
- 自分にあう推薦入学制度があったから 39
- 助産師の国家試験受験資格が得... 27
- 保健師の国家試験受験資格が得... 31
- 細胞検査士養成コースが開設されて... 6
- 臨床検査技師に加えプラスαの資格... 10
- 海外研修制度があったから 9
- 奨学金制度が充実しているから 24
- 自宅からの通学が可能だったから 47
- 自分の実力（偏差値）にあってい... 31
- 他に合格した大学がなかったから 2
- 周りの人たちに勧められたから 20
- 施設が充実しているから 15



9. 教育設備についての充実度



10.大学の設備、環境に関する意見

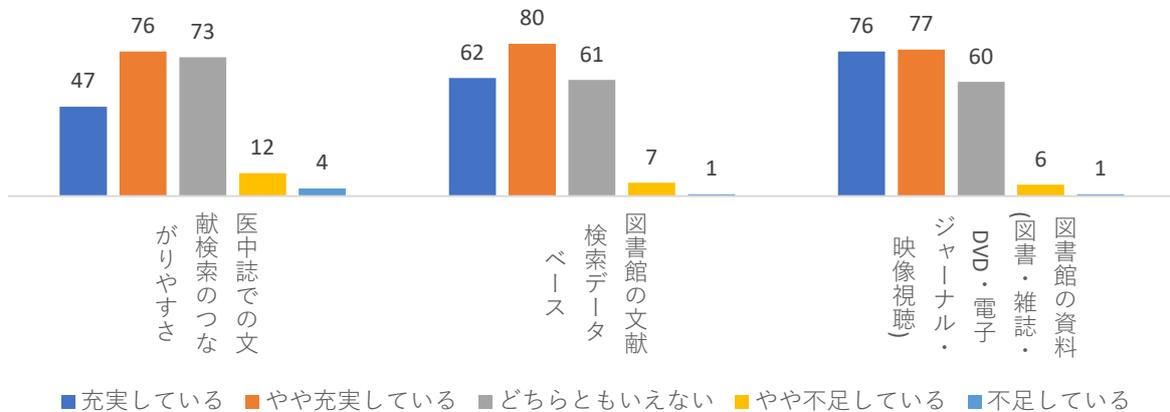
項目	件数	意見
バス	17	バスの本数を増やしてほしい、四日市大学と看護大学とで別のバスを作ってほしい、バスの待機場所に屋根をつけてほしい、
学食	6	コンビニの営業時間延長(17時まで)、価格が高い、品数が少ない
教室	22	机にコンセント、USBポータルがほしい、B館1階は虫が多い、ずっと座っているとお尻が痛い、プロジェクターが暗い、人数が多すぎて実習がやりにくい、冷房の効き始めが遅い、モニターが見えにくい
施設・設備	36	ポットがほしい、講義室・演習室全てに時計を設置してほしい、手洗いの水をお湯にしてほしい、17:30以降に教室を自習スペースとして開放してほしい、アイスの自動販売機など遅くまで勉強するときに食べられるものをもっと増やしてほしい、自転車の貸し出しをしてほしい、B館のホールが寒い、キッチンカーが面白かった、大学内に気分転換になるものがほしい、教室の椅子で滑り落ちそうになる、3階の学習スペースが夕方になると暗い、ロッカーが狭い、2階や3階にも自動販売機を設置してほしい、一人でも食べられる場所が少ない、トイレに生理用ナプキンを置いてほしい、実習用の器具を増やしてほしい、電子レンジの中が汚い、B5をコピーできるコピー機が欲しい、ATMの設置か交通系ICなどの支払い方法を増やしてほしい
その他	5	メイクするための広い化粧室がほしい、狭い、日曜日でも図書館を開けてほしい、授業の電話可能な時間が1限の10分前だとギリギリなので、少し余裕がほしい、レジュメがない先生が多い、B館にもコピーできる環境がほしい

<コメント>

教育設備についての充実度に関しては、『くつろげる空間』について以外の7項目で「充実している」または「やや充実している」が57.9～82.6%と過半数を占めており、好意的な意見が多いように見受けられます。

大学の設備・環境に関しては、数多くの様々な意見が寄せられました。なかなか対応が難しいことも多いですが、学生生活委員会から大学全体に共有し、対応可能な点は前向きに検討いただけるよう働きかけたいと考えています。

11.図書館の利用に関する充実度



12.図書館に関する意見

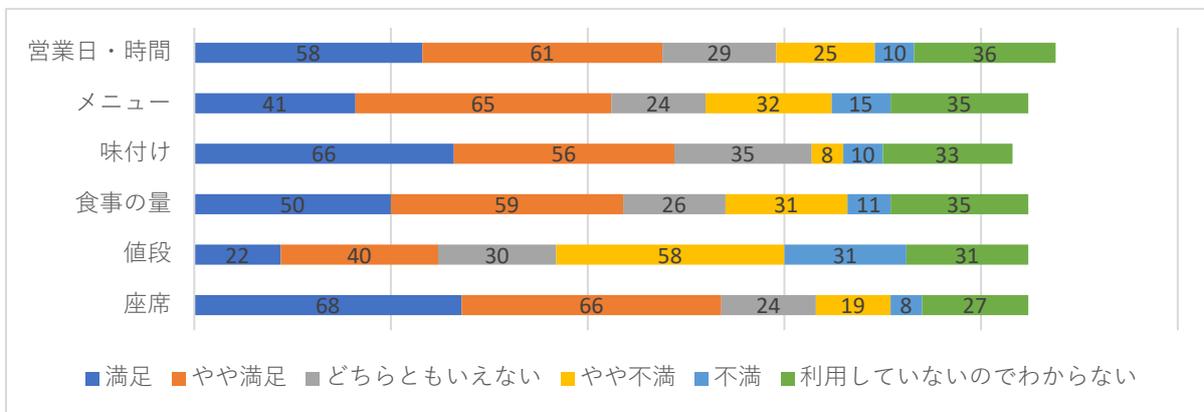
日曜日も開けてほしい、
 臨床検査の本をもっと置いてほしい、
 医中誌での文献検索でコピーできるものが少ないように感じる、
 論文を印刷するとき無料にしてほしい、
 普通の小説を増やしてほしい、
 飲食できるところも作ってほしい、
 2階にゴミ箱がほしい、
 コンセントを増やしてほしい、
 国家試験の問題集の数を増やしてほしい、
 パソコン室の利用台数を増やしてほしい

13.学生食堂の利用頻度

よく利用する	47
時々利用する	85
あまり利用しない	60
まったく利用しない	30



14.学生食堂についての感想



15.学生食堂についての意見

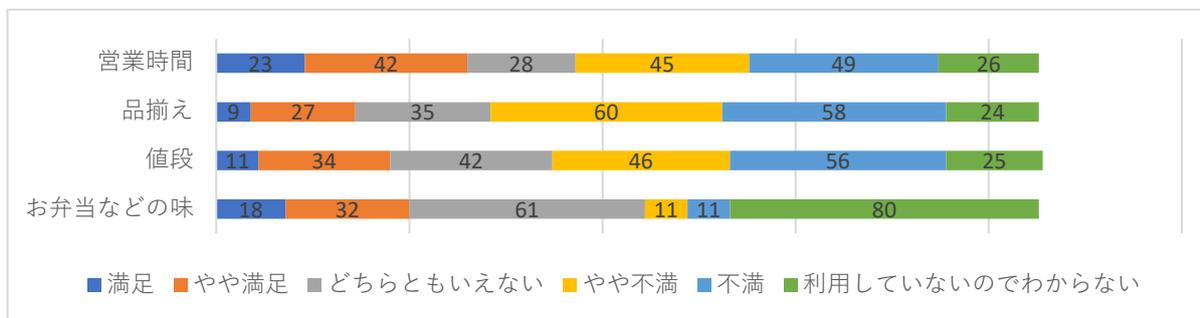
項目	件数	意見
量	23	ご飯の量の少なめがほしい、丼の小サイズがほしい、以前のように大中小の3段階での提供をしていただけるとありがたい、
値段	13	値段が高い
メニュー	10	味噌ラーメンがほしい、定食メニューを単品で頼めるようにしてほしい、小鉢が何のメニューか事前にわかると嬉しい、レパトリーを増やしてほしい、韓国料理を少し出してほしい、1限前の朝ごはんとかほしい 担々麺が凄く美味しいです、学生食堂にあったらいい昼ご飯の「レシピコンテスト」を開催して、学生の考えたメニューを献立に入れるなどしてほしい
環境	8	寒い、「ついたて」が汚れいていて不衛生に感じる、座席数をもっと増やしてほしい、トイレを直してほしい
その他	4	唐揚げとか、容器を持っていったら詰めていただける制度とかあれば、夜勉強するときの軽食になって助かる、いつでも美味しいです

16.コンビニの利用頻度

- よく利用する 27
- 時々利用する 102
- あまり利用しない 63
- まったく利用しない 29



17.コンビニについての感想



18.コンビニについての意見

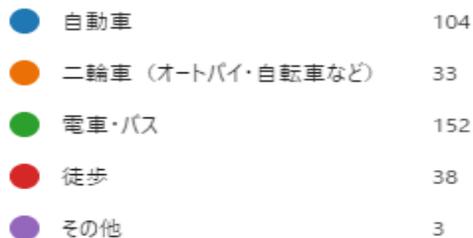
項目	件数	意見
品数	22	お昼の時間に行くほとんどの商品が売り切れている、カップ麺は充実しているがおにぎりやパンは少ない、付箋などの文房具の種類が増えるとよい、品揃えが悪い、スイーツの種類が少ない、揚げ餅をもう少し販売してほしい
時間	21	夜勉強していることがあるので6時から1時間ほど空いていたら嬉しい、営業時間を長くしてほしい、朝から空いていないため1限から授業のときに利用できない、17時まで延ばしてほしい
値段	7	その辺のコンビニよりも値段が高い、全体的に高い
決済方法	4	クレジットカードや電子マネー、QR決済ができるようにしてほしい
その他	7	両替機がほしい、コンビニを変えてほしい、なぜ学食に併設しているのかわからない、遠い

19.通学時間 (片道)

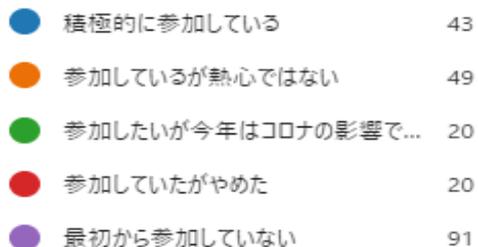
- 30分未満 40
- 30分～1時間 65
- 1時間～1時間30分 55
- 1時間30分～2時間 33
- 2時間以上 17



20.交通手段（複数の手段を使用している場合は全て選択）



21.今年度の課外活動について



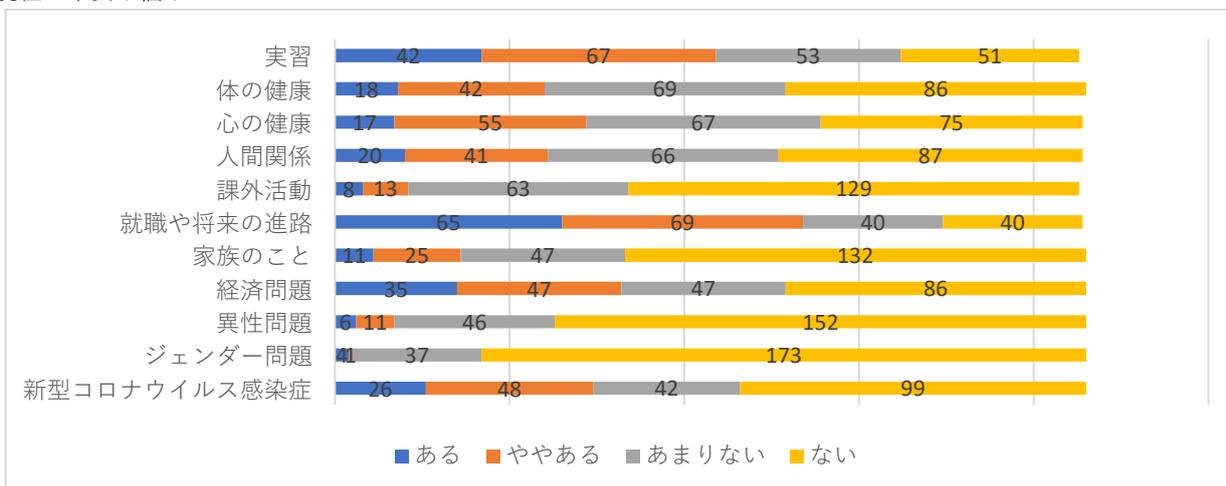
22.参加している課外活動団体



23.課外活動に参加している理由や要望

理由	運動不足解消と先輩との繋がりを作るため、授業からは得られない学びを得るため、コミュニティを増やすため、学生同士の交流を増やしたい
要望	看護用の体育館がほしい、看護の方にもテニス部を作ってほしい、課外活動費を増やしてほしい

24.現在の不安や悩み



25.Q24以外の不安・悩み

授業についていけない、進学しようか就職しようか悩んでいる、実技が苦手
人間関係が複雑で、いじめのようなトラブルが起きている
ボランティア系がもっと増えてほしい
自分がコロナにかかっているのかを、どこに相談すればいいかわからない

26.不安や悩みをサポートしてくれる人

● いる	203
● いない	14



<コメント>

学修に関する項目、進路・就職に関する項目で不安・悩みが「ある」と回答した人の割合が高くなっていました。この背景として、1年次から専門科目が開講されたり、医療保健福祉分野へ就職する人が大半であることなどが影響しているのではないかと考えます。また小規模大学であり、構内での人間関係も狭く深いものになりやすく、そのような環境ゆえの悩みを抱く学生さんも一定数いることが推察されます。大部分の方は相談できる相手が「いる」と回答されていますが、内容によっては誰に相談すればよいかを迷うこともあると思います。本学では相談の“入り口”として話を聴き、適切な支援につなぐ役割をアドバイザー教員が担うこととなっています。イザという時に相談ができるようにするために、心配ごとがない時期からアドバイザー教員と面談し、時々の状況を伝えておくことも大切ではないでしょうか。

27.保健室の利用について

● 利用しやすいと思う	51
● どちらでもない	143
● 利用しにくいと思う	23



28.保健室が利用しにくい理由について

場所がわかりにくい、
利用したいときに保健担当の先生がいないから、誰もいないときがある、
どうやって利用したらいいかわからない、
利用できる時間が短い、
利用した際の授業の出欠が気になる、
入りづらい

29.学生相談室の利用について

● 利用しやすいと思う	38
● どちらでもない	160
● 利用しにくいと思う	17



30.学生相談室が利用しにくい理由について

弱っちいと思われるんじゃないかと思う、
 水曜日の限られた時間しか空いていないため授業があると利用しにくい、
 誰に聞いてもらえるかわからない、
 看護しかいけなさそう、
 利用の仕方を知らない

<コメント>

今回の調査からは、学生相談室が学生さんにとってまだ敷居の高い場所である可能性が推察されました。学生相談室での相談受付にあたっては、Web受付等、十分、プライバシーに配慮を講じてます。また相談内容が曖昧でも、それを整理し適切な支援につなぐことも相談室の機能の1つです。「こんなこと相談してもいいのかな」と迷った時が相談するタイミングです。学生ホールやトイレなどに掲出している案内チラシに記載のアドレス（QRコード）から、まずは気軽にメールで連絡を取ってみてください。

31.アドバイザー制度について

- 活用しやすい 35
- やや活用しやすい 83
- やや活用しにくい 20
- 活用しにくい 17
- 活用したことがない 60



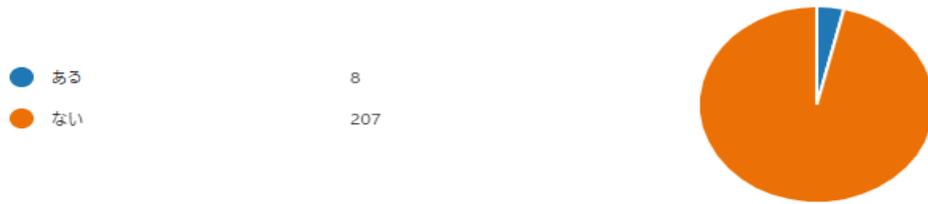
32.アドバイザー制度が活用しにくい理由について

項目	件数	回答例
関係構築 相性	10	自分で一番かかわりのある教授に話しにくい方が気楽に感じる、先生自身が学生のことを把握できていない、知らない先生、気軽に相談できる先生ではない、自分から予約を取って会いに行きにくい、
機会・連絡がない	4	なかなか自分からアポイントを取ることも抵抗がある、連絡もなく1回も会ったことがない、面談しましょうというメールが来ていない
遠慮してしまう	3	教員も忙しいし自分の悩みくらい自分で何とかしようと思う、忙しそうで面談を頼みにくい
利用の仕方がわからない	2	どう活用したらいいかわからない、何を聞いていいのかわからない
その他	1	利用させる気がないように感じる

<コメント>

今回の調査からは、アドバイザーへの相談経験がある方の約70%からは制度を「活用しやすい」と評価されていましたが、「評価しない」とした約30%の方の記述からは、担当教員との相性や遠慮がその理由になっていることが推察されました。アドバイザーの決定は機械的に行うため、個々の希望や相性まで配慮することには限界がありますが、あくまで相談窓口の”1つ”という位置づけですので、アドバイザーでなくても、話しやすい教職員にまずは声をかけてほしいと思います。また、教員は年1回アドバイザー研修を実施し、その力量を高めるよう取り組んでいます。

33.大学内でハラスメントに遭遇したか

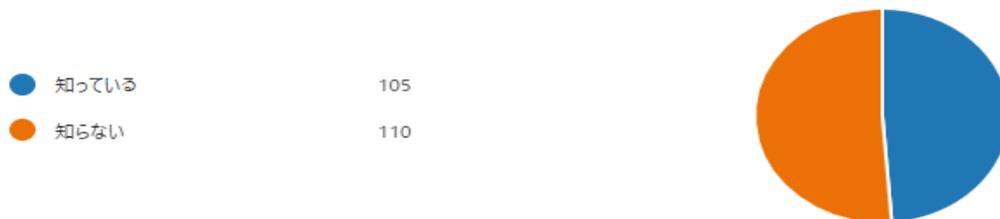


34.ハラスメントに遭った際、相談した人



35.Q34で「相談していない」と答えた理由
回答者なし

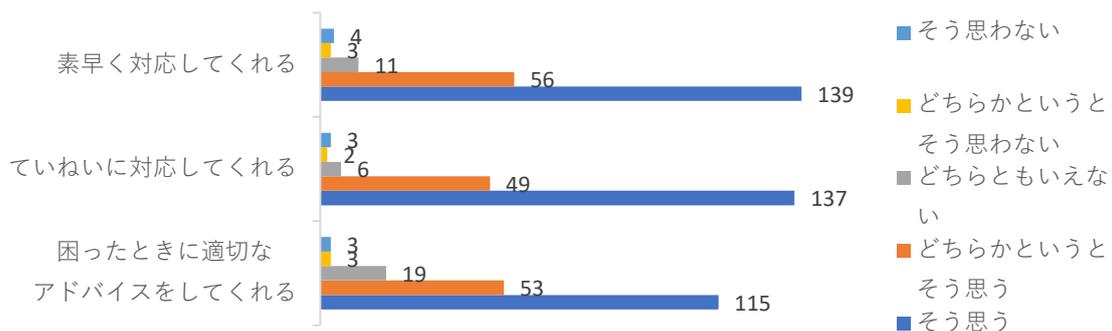
36.ハラスメント相談員がいることについて



37.学生支援について、大学にサポートしてほしいこと

項目	件数	意見
国家試験	3	1年生から国試対策をしてほしい、就職の面接練習、小論文試験の対策
授業	2	自由席にしてほしい、授業評価アンケートの記入期間延長
その他	4	奨学金制度の充実、髪の毛・ネイルを自由にしたい

38.事務窓口（教学課）について



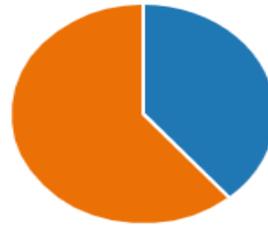
39.自分の経済状況について

● 余裕がある	17
● やや余裕がある	19
● 普通	102
● やや苦しい	55
● 苦しい	20



40.就職を前提とした医療機関等からの奨学金（育成会を含む）の利用について

● はい	83
● いいえ	131



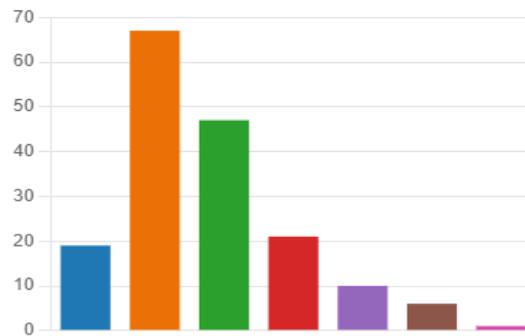
41.アルバイトについて

● している	170
● していない	44



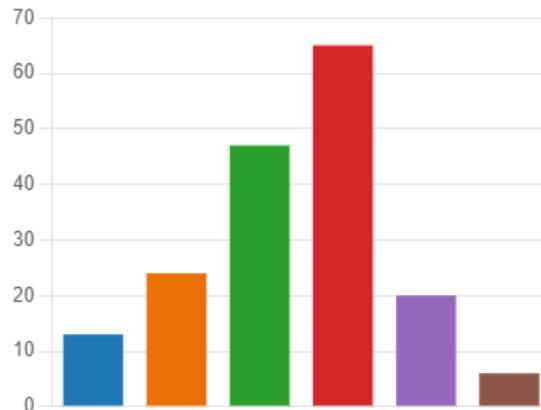
42.1週間あたり平均日数（アルバイト）

● 1日	19
● 2日	67
● 3日	47
● 4日	21
● 5日	10
● 6日	6
● 7日	1



43.アルバイトをする理由

● 学費のため	13
● 生活費のため	24
● 趣味のため	47
● 遊びや旅行費用にするため	65
● 社会勉強のため	20
● その他	6



<コメント>

約8割の方がアルバイトをしていました。週の平均日数では、2日または3日という方が多かったのですが、5～7日と回答した方も1割いました。アルバイトの理由をみますと、「遊びや旅行費用にするため」が最も多く、次いで「趣味のため」と回答した方が多かったです。遊びや趣味のためと回答した方が約6割であった一方で、「生活費のため」「学費のため」と回答した方が1割いました。多くの方は学業を優先し、週末を利用したアルバイトで遊びや趣味のための費用は自分で賄うという生活を送っていることが窺えましたが、なかには学生生活全般にかかわる費用のためにアルバイトを行っている方もいました。日数の多少だけではありませんが、学業が遂行できるようアルバイトの日数や時間は考慮し、困りごとが生じた時には周囲に相談しながら、充実した学生生活が送れるよう努めましょう。

44.SNSでのトラブルやストレスについて

● ある	10
● ない	203



45.具体的なトラブルの内容

人間関係、自分以外で遊んでいる様子をアップされた

46.SNS以外で、入学後から現在までに危険な目に遭遇したことの有無

● ある	7
● ない	205



47.遭遇したトラブルについての具体的な内容

ストーカー、
他大学の人からの執拗なナンパ、駅でナンパされた、
電車内で知らない人に罵声を浴びせられた、
ロッカーの盗難

<コメント>

SNSでのトラブルやストレスについては、昨年度と比較して僅かながら減ってはいますが10名の方が「ある」と回答しました。内容には、人間関係や遊んでいる様子を（SNSに）アップされたということが挙げられています。また、SNS以外で危険な目に遭遇したと回答した方は7名で、ストーカー、ナンパ、電車内での罵声、ロッカーの盗難といった内容が挙げられました。このようなトラブル等が生じた際の対処は容易なことではありませんし、相談行動も勇気のいることですが、一人で抱えることのないよう周囲の大人への相談や大学相談窓口等を活用するなどし、早期に解決していきましょう。